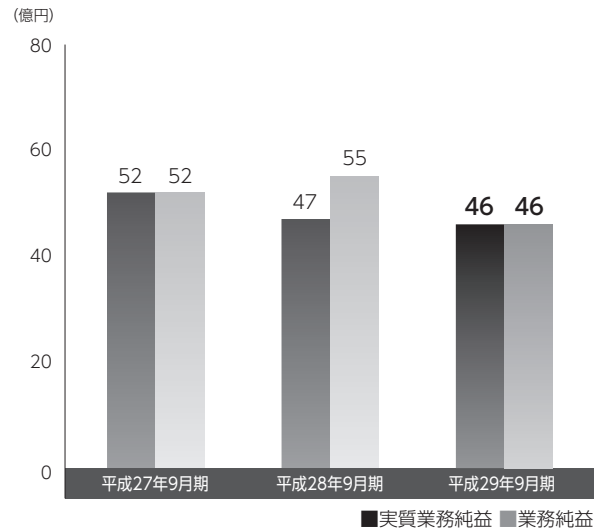


実質業務純益と業務純益

実質業務純益は、資金利益は増加しましたが、役務取引等利益やその他業務利益の減少等により、前年同期比51百万円減少の46億88百万円となりました。業務純益は、一般貸倒引当金の戻入れが貸倒引当金戻入益に計上されたことにより、前年同期比8億99百万円減少の46億88百万円となりました。

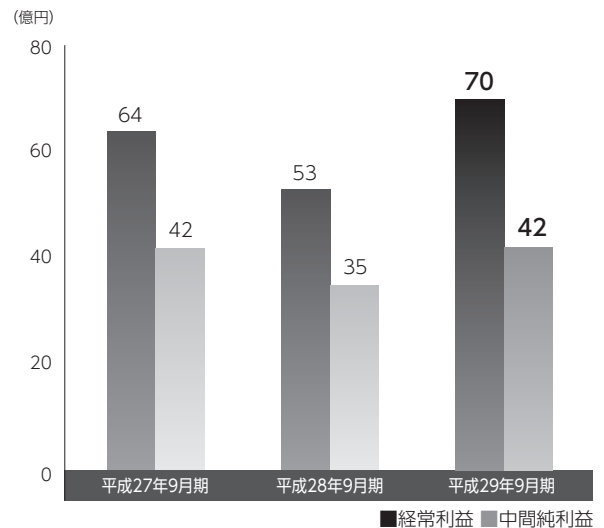
実質業務純益と業務純益



経常利益と中間純利益

臨時損益は、与信関係費用の減少により、前年同期比26億46百万円増加の23億67百万円となりました。業務純益に臨時損益を加えた経常利益は、前年同期比17億49百万円増加し70億56百万円、中間純利益は、前年同期比7億5百万円増加し42億62百万円となりました。

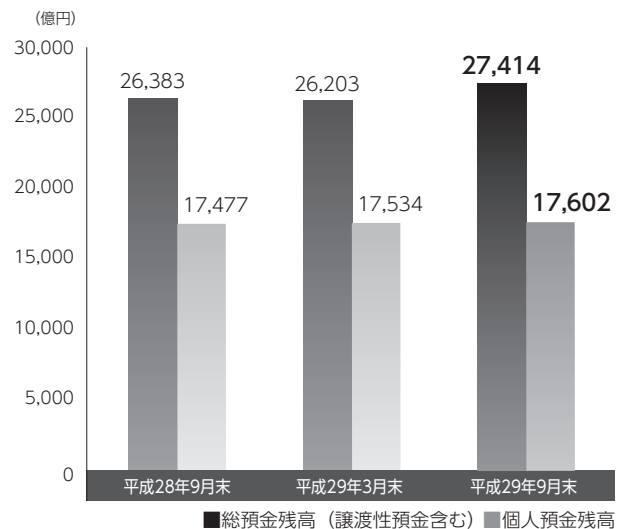
経常利益と中間純利益



総預金と個人預金

総預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金と法人等預金の増加により、前年同期末比1,031億円増加の2兆7,414億円となりました。前年度末比では1,211億円増加しました。

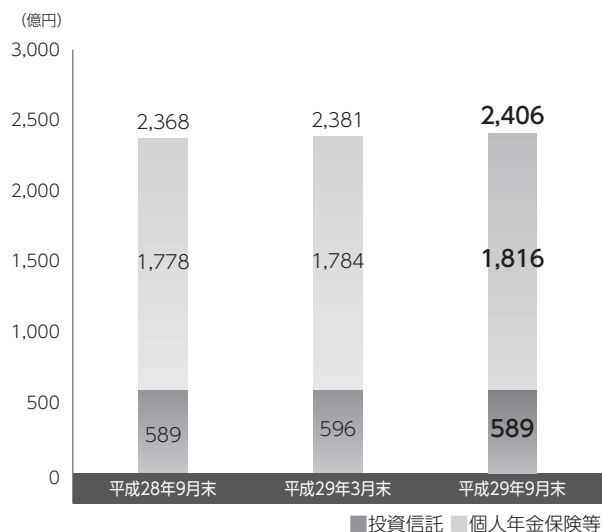
総預金残高（譲渡性預金含む）と個人預金残高



個人預り資産(投資信託、個人年金保険等)

個人預り資産(投資信託、個人年金保険等)は、お客さまの資産形成のサポートに努めました結果、投資信託は減少しましたが、個人年金保険等の増加により、前年同期末比38億円増加の2,406億円となりました。前年度末比では24億円増加しました。

個人預り資産残高(投資信託および個人年金保険等)



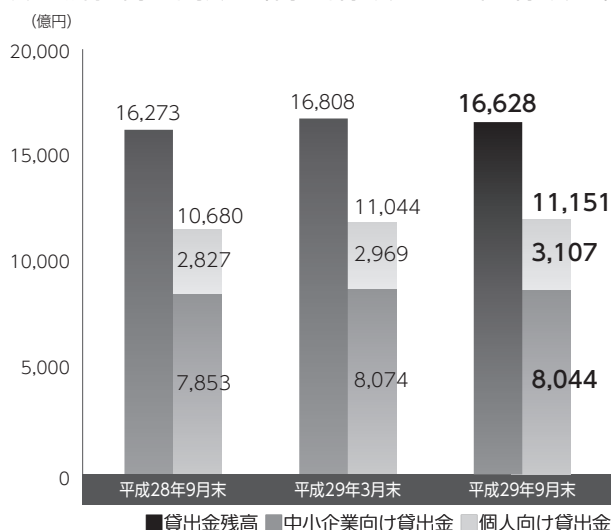
貸出金と中小企業等貸出金

貸出金は、個人向け貸出金と中小企業向け貸出金の増加により、前年同期末比355億円増加の1兆6,628億円となりました。前年度末比では180億円減少しました。

中小企業向け貸出金は、事業性を評価した取組みを強化した結果、前年同期末比190億円増加の8,044億円となりました。前年度末比では30億円減少しました。

個人向け貸出金は、住宅ローンとその他ローンがそれぞれ増加し、前年同期末比280億円増加の3,107億円となりました。前年度末比では138億円増加しました。

貸出金残高と中小企業等貸出金(中小企業向け貸出金および個人向け貸出金)



有価証券

有価証券は、前年同期末比684億円減少の1兆235億円となりました。前年度末比では212億円減少しました。

有価証券残高(円建債券、外貨建債券、投資信託等)

